昭和九年十二月十四日 第三種郵便物認可
康徳六年（昭和十四年）三月六日　新京日日新聞　（月曜日）　第五千七百九十八號　（一）

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價（郵稅）一ヶ月壹圓五十錢　一部五錢
廣告料金（普通）一行壹圓五拾錢（特別）一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話（編輯局專用）(3)三二一五（營業局專用）(3)三二〇〇
發行人　十河本榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

東部國境綏芬河北方で 滿ソ軍警衝突す
激戰、十倍のソ兵撃退

治安部發表＝五日午前八時頃滿ソ東部國境綏陽滿洲國々境警備隊大瀬警正を長とする日系四名、滿系十六名の國境警察隊員は國境線H號界標（綏芬河北方卅五キロ）曉天臺東方滿洲國領内を巡邏中突如ソ聯の騎兵約四十名が不法越境し來り、わが方に對し猛射を浴せ來つたので、わが方はこれに應戰、一時間に及ぶ激戰の後これを撃退したが、ソ聯側は續々とその兵力を増加し來つたので、わが方は村田警尉以下十五名が急遽現地に向ひ大瀬警正の指揮する警察隊と協力、午後二時頃ソ聯軍を撃退した、この戰鬪において千葉警長は左上膊部に、又趙警長は右腕に擦過傷を負つた、ソ聯側は衝突現地に死體五を遺棄し退却したが、死傷多數ある見込みである、右ソ聯側の不法越境射撃は去る廿六日同地において日滿軍のためソ聯兵二名射殺され、一名捕虜となりたる報復手段による計畫的行爲と見られるが滿洲國々境警察隊は寡兵よく十倍餘のソ聯兵を撃退し滿洲國々境確保の重責を果した

滿洲國嚴重抗議

五日午前八時滿ソ東部國境綏芬河北方觀月臺附近において惹起されたソ聯兵不法射撃による滿ソ衝突事件に對し滿洲國外務局は五日午後在哈下村外交特派員をして在哈ソ聯總領事を通じソ聯側に嚴重抗議を提出すると共に、滿ソ國境におけるかゝる不法射撃越境行爲の即時停止方を要求した

▲四日午前十時頃綏芬河北方約二キロの地點にソ聯騎馬兵三名が不法越境し來り同地附近にあつたわが監視兵に對し不法にも射撃し來りたるを以てわが方はやむなくこれに應戰撃退した、右戰鬪に於てわが方に損害なし

無條約狀態の北洋へ 斷乎、自衞出漁
わが漁業權益 確保の態勢成る

【東京國通】ソ聯の一方的公告による漁區競賣期日は旬日の後に逼迫したが、その後における彼我の交渉は依然進捗しないので萬一の場合を考慮してわが關係業者は强行公賣絶對反對、自衞的自由出漁の斷乎たる方針の下に愈よ本年度の必要計畫を確立するに至り今や無條約狀態における北洋漁業權益確保の態勢は全く整備確立した

即ち露領漁業を經營する日魯漁業はかゝる緊迫せる事態の下に斷乎現有漁區全部の經營方針を堅持、自衞的出漁敢行の決意を示してゐると共に、太平洋漁業は生産力擴充、輸出増進の國策線に沿ふ積極的増産計畫を樹立した北千島水産會社も機構整備が既に完了してゐるので日魯、太平洋、北千島の三社は緊密なる聯繋の下に萬全の態度をとつてゐる

本年度における三社を通じた鮭罐詰の延生産計畫は前年度と同様八十萬箱に置かれてゐるが、太平洋の増産を中心の生産實績は百萬箱突破（前年九十七萬箱）は確定的と見られこの鮭鱒漁業經營主體と共に北千島定置鮭鱒漁業においても増産計畫が企圖されるなど北洋漁業自衞出漁の態勢全くなり異常なる決意の下に出漁期の到來を待機しつゝある

安定市外守備の我步哨（海南島）

淮陰の敗敵 四分五裂

【淮陰五日發國通】わが軍の淮陰攻撃が開始されて、早くも泗陽が陷落するや、敵將韓德勤は魯州にあつて指揮をとつてゐる蘇魯戰區司令于學忠に今後の指令を仰いだところ于學忠は

五日間淮陰を死守せよ、さすれば兵を出して救援せん若し支へられずんば一兵も損せず速かに逃走せよ

との支那式電命を發したので日本軍に敵し得ずと悟つた韓は逸早く寶應に退却、大將の轍を踏む部下百十七師長李守維は洪澤湖南方の盱眙に、百十二師長霍守義は漣水方面へとそれぞれ遁走、敵大軍は四分五裂となつて自滅を待つのみとなつた

湯家庄を攻撃

【上海四日發國通】二日黄浦江如皋警備隊は如皋北方十キロの湯家庄に蟠居する六百の敗敵を攻撃し、死體六十を遺棄潰走せしめた

片野部隊も淮安に突入

【徐州四日發國通】漣水に進出更に西南進し灌河遡江を續けてゐる片野部隊東挺身隊○○隻は、四日午前九時四十分久しぶりに晴れあかつた朝陽に日章旗を靡かせつゝ淮安に突入、二日夕刻突入の○○部隊長並に堀井部隊長と感激の握手を交した

陸海兩軍指揮官
けふ海州入城式擧行

【海州五日發國通】要衝海州も遂にわが勇猛果敢なる攻撃の前に降伏したが、沂州を去る廿六日出發して泥濘の惡路をものともせず所在の敵を蹴散らして急進見事海州一番乘の名譽に輝く山本部隊に引續いて安東衛上陸の平野部隊、隴海線沿ひに東進した中島部隊、宿遷を指して沭陽を經て海州突入の片野部隊、灌河の敵前遡江上陸に成功、北上せる生田部隊は何れも各所において敵軍を撃破、大なる戰果を收めて殆ど相前後して海州に入城、各部隊とも長驅進撃の疲勞さへもみせず元氣旺盛海州及び灌雲を中心に待機してゐるが、六日午前には陸海兩軍指揮官の晴れの海州入城式が行はれることになつた

六塘河守備の敵を潰滅

【徐州五日發國通】わが南部包圍陣を着々完成しつゝある○○部隊堀井部隊の一部は淮安占領と共に直ちに南下蘇北の敗敵を急追戰果を擴大しつゝある、又澤田部隊主力は二日午後四時漣水西北三十キロ錢家集附近を流れる六塘河を守備のおよそ五百の敵を撃破强行渡河を敢行同日午後六時三十分これに全滅的打撃を與へ南方へ潰走せしめ目下南進中である、敵第一一一師は漣水北方地區に血路を求め右往左往してゐるがその全滅も近きにありと見られてゐる

冀中肅清戰果

【石家莊五日發國通】冀中地區肅清戰において京漢線より南進、鄭縣方面に進撃したわが部隊の二月八日行動開始以來同末日までの戰果は左の如く判明した

▲北部地區（毛利、福榮、山北、桑田各部隊）交戰回數五四、敵死一、五二六、捕虜一一五

▲南部地區（西大條、太田兩部隊）交戰回數四〇、敵死九〇六、捕虜三〇

▲南北地區合計敵死二、四三二、捕虜一四五

漢水戰線

奇襲、安陸を屠る
泥濘四十キロ一夜に突破

【漢口五日發國通】五日午前十一時より卅分間にわたりわが秋妻航空部隊が安陸を偵察したところによれば、城壁上には數本の大日章旗が翩翻とはためき漢水を壓して壯觀を極め、安陸對岸には若干の敵影あり、わが安陸占領部隊はこれに猛火をあびせつゝあり對岸部落は黒煙をあげて炎燒中である

【漢口五日發國通】漢水東岸における敵の最大據點たる安陸城は、新行動開始以來僅か旬日にしてわが精鋭部隊の占領するところとなつたが、この間江北地方は連日豪雨降り續き漢水の本支流は一齊に氾濫して一面泥濘の海と化しわが進撃を阻碍すること夥しかつたが、この惡條件を排し進撃各部隊は殆ど不眠不休果敢なる突破戰に次ぐに夜襲戰夜間追撃を敢行して随所に敵集團を全滅し去り、つひに安陸のスピード占領に成功したもので、將兵の勞苦はまさに筆舌に絶するものがあつた、殊に安陸占領の佐久間、加藤兩殊勳部隊は二日夕舊口鎭を奪取するや息もつかず泥濘馬腹に達する中を人馬泥んこになつて突進し、一夜に約四十キロを突破、四日敵の虚を衝いて忽然安陸の東側に出現、敵陣營を潰亂に陷れ一擧敵陣を屠つたものでその奇襲振りは織田信長の桶挾間の奇襲戰を髣髴せしむるものがあつた

更に新作戰を企圖

【漢口五日發國通】あくまでも江北戰區の敵を全滅せんとするわが精鋭部隊は安陸占領後更に新たなる企圖に向つて躍進を開始した

敵遺棄死體二千を超ゆ
江北作戰戰果

【〇〇五日發國通】江北作戰の戰果は豫期以上に大きく五日迄に第一線部隊が目撃した敵遺棄死體のみにても二千數百の多きに上り當面の敵は殆ど全滅的打撃を蒙つた

人事往來

▲加藤直太郎氏（會社員）五日東京ヤマトホテルへ
▲河原正一氏（官吏）同
▲長野昌隆氏（同）同
▲清原清氏（會社員）中央ホテル
▲大村寛藏氏（同）同
▲横田章氏（退役陸軍中將）同
▲鹽塚太郎氏（請負業）同
▲谷川昭德氏（同）滿蒙ホテルへ
▲大重登氏（官吏）同
▲青木善太郎氏（請負業）同
▲内田重雄氏（鐘紡社員）同
▲工藤雄助氏（會社員）同

海鷲全支に活躍

【上海五日發國通】艦隊報道部五日午後四時發表＝

△北支方面　さきに淮陰及び海州の攻略成るや連雲港周邊の敵は悉く退却を開始せり、同地域一帯に亘り掃蕩實施中の海軍陸戰隊は随所に敵の抵抗を排しつゝ進撃三日塘溝を占領、引續き永下部隊と協力戰果を擴大中なり、なほ海軍航空隊は海州、漣水、鹽城附近の偵察攻撃に任じ所在の敵に大打撃を與へたり

△中支方面　揚子江遡江部隊は幾多の困難を排し引續き占領地域にわたり水路啓開清掃工作および江岸の殘敵掃蕩に努力しつゝありしが陸軍の作戰に協力せる〇〇艇隊は三日漢水江岸仙桃鎭において有力なる敵に應戰敵汽艇三隻を破壞せるほかこれに大損害を與へたり

△南支方面　海軍航空隊は一昨三日福建省興化、龍溪方面を襲撃し龍溪において敵の密集部隊に對し果敢なる爆撃を加へこれを潰走せしめ泉州において橋梁一を大破したるほか多大の戰果を收め全機無事歸還せり

南屯拔き靜樂目睫
太原西北の敵 我包圍に殲滅近し

【太原五日發國通】白雪に蔽はれた雲中山脈の峻嶮を縫つて靜樂目指して進撃を續けるわが中村部隊は三日午前十一時靜樂北方卅六キロの寧化堡に蟠居せるおよそ五百の敵を粉碎、西方及び南方に潰走せしめたが、同日午後四時には南屯を占領、早くも靜樂を距る卅二キロの地點に肉薄した、一方西進を續けてゐる川崎部隊は三日朝三交鎭西北三キロの蛤口村南方高地において三百の敵を潰滅、その主力は三交鎭西方十キロ宗家庄を占領した、佐々木部隊は同日何等敵の抵抗を受くることなく牛尾庄を陷れ騎兵部隊は午後一時半靜樂東南卅五キロの北小店鎭に進出、久世部隊は河口鎭において凡そ六百の敵を撃滅午後六時これを占領、堀部部隊も午前九時半汾河々畔の敵據點の古交鎭（靜樂南方六キロ）を拔き引續き北進中、かくて太原西北方各地の敵軍は今やわが軍によつて完全に包圍され全滅されるを待つばかりとなつた

退路を遮斷
長壽店に進出

【應城五日發國通】近藤部隊は五日午後長壽店に進出し安陸附近より退却する敵大部隊の退路を遮斷し、安陸より急進中の友軍部隊と協力して西北一帯に包圍殲滅戰を展開してゐる

北支作戰の終止符
殘るは赤色ルートの敗殘軍
海州攻略の意義大

【北京五日發國通】昨年五月の徐州大會戰を轉機として北支五省は建設工作の時代に入り爾來九ヶ月、治安は著しく改善され河北一億の民衆は皇軍の温かき庇護の下に安居樂業し東亞の新秩序は建設されんとしてゐるが尚は北支全般に相當數の敵軍が殘存して虎視眈々として我が後方攪亂を企圖し、このため鐵道の運行奥地の産業開發も甚だしい障碍を受ける狀態にあつた、茲に於て皇軍はこれらの敵匪集團に對して徹底的膺懲の鐵槌を下すべく各個撃破戰術によつて先づ徐州戰後開始された京漢線作戰山西南部肅清工作の最初の冀中、冀東、河南北部と寧日なき轉戰を繰返し常に寡を以て衆敵を全滅して來た、かくて北支に於ては敵集團部隊が餘喘を保ち遂には僅かに今次作戰の海州附近および目下我が大包圍網に陷つて混亂してゐる山西々北角靜樂附近を餘すのみとなり、かくて敵が北支における抗日の最後の據點海州は我が勇士の猛攻に遭つては眞に鎧袖一觸、作戰開始以來僅か一週間にして脆くも陷落、敵は北支に殘された唯一の根據地すら失ふ始末となつた

かくて今や北支には集結する敵勢力は一個師もなく僅かに共産軍敗殘兵が遊撃隊として蠢動するのみとなり彼等とても何れも皇軍のため累次敗戰の苦杯を喫したものばかりであるため戰意なくひたすら皇軍の眼を逃れんことを苦心する有様であるために、北支の動脈である京漢、津浦兩幹線は固より同蒲、京包、京山線は完全にわが手に確保されて運行し、隴海線亦今次の攻略にともなひ連雲港より開封まで全通する日も近き將來と豫想され、加ふるに各鐵路は何れも假營業を開始して賑々とその活動を續け、沿線住民の交通上、産業上に多大の利便を與へてゐる以上の如き海州攻略こそは北支掃蕩戰のピリオドとしてその治安維持保全上重大な意義を持つものであり、僅かに明朝北支に最後の抵抗を續ける西安、蘭州を繋ぐ赤色ルートのみとなり、これすらわが荒鷲群の猛撃の前にひれ伏し今や北支は日本と提携する臨時政府、蒙疆政府の醒價日一日と昂まり樂土が完成されつゝある

敵屍二百五十を下らず

【海州四日發國通】四日午前皇軍が占領した海州城には敵の遺棄死體累々として激戰の跡を物語つてゐるが、目下判明せるもののみにても敵死體二百五十を下らず、鹵獲品機銃五、小銃五百、小銃彈二萬發その他無數、わが軍の損害僅少なり

僅々八十餘時間で完全占領

【海州五日發國通】黄海唯一の海港海州も遂に無敵皇軍の果敢な攻撃開始後僅か四日目で陷落した、思へば敵將于學忠が徐州敗戰後その敗殘兵を糾合、蘇魯戰區として六萬餘の麾下を擁して海州一帯の鹽税により第三國より武器を購入、抗日意識を民衆に植付け着々防備を整へてゐた、併しわが陸海空軍が三位一體となり大包圍攻略戰に移るや、向ふ處敵なく晝夜の別なく破竹の進撃を續行完膚なきまでに敵を全滅、僅々八十餘時間をもつて于學忠が最後の牙城とたのむ海州を完全に占領し春風に翩翻と感激の日章旗を城頭高く飜へした、わが軍によつて確保された海州城内はわが荒鷲軍の正確無比の爆撃と退却の焦土戰術によつて破壞され完全に廢墟化し今なほ餘燼がくすぶつて不氣味な死の街の姿を現出してゐるが、僅かに破壞を免れた市の一角には避難することの出來なかつた住民が日章旗を揭げてわが入城を歡迎してゐる有様は如何に敵軍の壓政に苦しんだかを如實に物語つてゐる

偶語

滿洲軍用犬協會の改組强化案は五日の臨時總會で可決確定した▼軍用犬が國家的に最も必要缺くべからざるものであるといふことは今まで國民の一部の間には認識されてゐたが國民全般の頭にピンと響いたのは今次支那事變である▼だが現在軍用犬を飼育してゐる人々の頭を解剖して見ると北海道の農民が▼狸を飼ひ狐を飼つてゐる氣持所謂家畜として飼つてゐる者は極めて少く▼一つの愛玩用乃至一種の流行的氣分で飼つてゐるのが多いやうだ▼これでは流行を逐ふ婦人の氣持と同じで必ず飽きるに違ひないのである▼凡そ軍用犬に關する限りそういふ氣分を根本から一掃して國民の一人一人が眞に國家のため▼義務的に軍犬を飼はねばならぬといふ氣分に導くことが强化の最大眼目でなくてはならぬ

本日朝刊四頁

揚子江の開放は その時期に非ず
現地陸海軍の見解

【上海四日發國通】揚子江開放問題に關してはわが當局屢次の態度表明にも拘らずイギリスその他各國より頻りに揚子江開放促進の申込をなし來つてゐるが、わが現地陸海軍當局は左の如き理由よりして現在の情勢下においては絶對に揚子江を開放すべからずとの見解を堅持してゐる

一、イギリスその他各國は南京、蕪湖、九江等諸港に於て日本商船が多數貿易に從事し且つその積載貨物は軍需品と認め得ずとなしてゐるが、わが現地陸海外當局は曾て江陰上流揚子江に御用船以外の船舶を入れた覺えなく、また各國はこれら船舶の記載貨物中に小麥、砂糖、鹽、鐵鑛石、綿產品等各種の物を含んでゐるとなしてゐるが、これは貿易品と認められるものではなく揚子江沿岸はわが占領地域內民衆全部に必要なる特殊軍需品と認むべきである、揚子江沿岸地域內支那民衆に生活必需品を供給し、またこれら民衆から農產物を買ひ取り生活の安定を圖り延いて治安の維持を圖ることは軍當局の義務であり、權利であるといふべきである、また鐵鑛石の如き內地に輸送してこれを軍事目的に使用することは當然である

二、イギリスの揚子江艦隊司令官の報告によれば浮游水雷の存在や航路標識の撤去等船舶航行に不都合な狀態は何等差支へなしとしてゐるが、これは認識不足も甚だしいといふべきである、即ち揚子江流域におけるわが軍事行動は未だ終熄してをらず、軍隊および軍需品を積載せる御用船は現在なほ多數通行してをり萬一現下の情勢において一般船舶の航行を許すにおいてはこれに多大の障碍を及ぼす結果となるは理の當然である、茲に流域各港における御用船の碇泊および軍需品の荷役に大なる障碍を及ぼす事明らかである、なほ現在揚子江沿岸地區においては多數敗殘兵、匪賊、遊擊隊が殘存してをり、揚子江通行のわが御用船を妨害してゐるため日本軍隊は屢々多數の軍隊を乘せた舟艇をもつてこれが討伐に從事してゐる しかして斯の如き情勢下において一般船舶の自由航行を許すにおいては直接わが軍事行動に妨害を及ぼすこととなること明らかである

三、現在江陰下流揚子江沿岸新港、張黃江、福山、滸浦鎭、白茆口、七了口など諸港を通じて第三國々旗揭揚船舶が敗殘兵、匪賊遊擊隊に武器、彈藥、金錢等を供給しまた遊擊隊員等はこれら船舶に乘つて上海その他各地に連絡してゐる、故にこの際揚子江を開放するにおいては江陰上流各地も江陰下流各地同樣治安の維持に多大の妨害を受けることとなり、わが軍從來の治安維持の努力を水泡に歸せしむるおそれがある、この一事をもつてするも現在の情勢においては假令南京、蕪湖までと雖も一般船舶の航行および通商の自由を與へることは絶對に認容し難い

江南地區の敵兵 續々歸順

【上海四日發國通】江南地區一帶における支那正規軍および共產匪遊擊隊員等は我軍に對し續々歸順を申出でその數は日を逐ふて增加を示し既に維新政府は綏靖部隊に改編されたもの二月末日現在四萬四千百卅五名に上つてゐる、右改編部隊の各地區別は左の通りである

吳興(太湖々畔)七六〇、蚌阜九〇〇、嘉興一、六三七、湖州八、一三〇、閔邑一四六〇、常熟一、〇六〇、楊州三六〇、崇德三一〇、金山縣三、五〇〇、靑浦縣四、五〇〇、靖江一二〇、常州一、二〇〇、海門二〇〇、川砂三〇〇、浦東五〇〇、太滄縣六〇〇、江陰五五〇、崑山一、五〇〇、吳江二〇〇、南通三〇〇、その他約一七、〇〇〇

今後の協力要請
テロ事件の鎭壓問題解決に 軍當局談を發表

【上海四日發國通】上海のテロ鎭壓に關するわが方と工部局との間の交涉は三日をもつて圓滿解決を見たので、わが陸海軍上海警備司令官たる宍戸、櫻井兩少將は四日午前英國アクトン中佐、英國オーガン大佐、伊太利ビバルデ大尉の各國警備指揮官を順次歴訪し工部局との間に成立したる事項につき諒解を求め今後の協力を要請した、右に關し陸海軍當局は四日午後次の談話を發表した

△上海陸海軍當局談

本四日宍戸上海海軍特別陸戰隊司令官、櫻井上海陸軍警備隊司令官は廣田陸軍大佐、光延海軍中佐、高田憲兵中佐を隨行、英、米、伊各警備指揮官を歴訪し上海治安維持に關し日本側と工部局との間に諒解成立の旨を告げ且つわが方の精神の存するところを說明してその諒解を求め協力を要請するところあつたが、各國指揮官は何れも上海治安維持の上から本諒解の成立を衷心より慶賀し、且つなし得る限りの協力を致すべき旨言明した、本日の會見において英米各軍指揮官とも上海治安維持のため相共に誠意をもつて協力せんとするの意向あるをわが方において看取し得たるは最も欣快とするところである

右により形而上下共に緊密なる協力によりわが方は上海の治安が維持せられ、これが明朗化するを期待すると共に、更にこの協力の精神が他の日本と第三國との間の總べての問題にまで擴充せられることはわれわれの大いに希望するところである

海口、瓊山に日本語學校開校

【海口四日發國通】海口、瓊山に治安維持會が成立して以來すでに十四日、市民は嬉々として正業に安んじてゐるがこの程更に兩市に日本語學校が設置されることになり島民の親日に拍車がかけられることゝなつた、海口の日本語學校は七日、瓊山は五日開校と決定、前者は生徒數百二十、後者は二百名である

維新政府實業家會議開催

【上海四日發國通】維新政府の第一回實業家會議は來る八、九、十の三日間上海において開催、中央省市縣の實業家および中央の九產業關係者代表列席の下に本年度產業經濟開發計畫および三ヶ年企業計畫等について協議を行ふ筈で、王子惠、沈能毅兩氏は右會議司宰のため四日朝飛行機で上海に赴いた

沈鴻烈軍 自然崩壞の運命

【海州四日發國通】曾つて蔣介石ラインとして難攻不落を誇つた東隴海線も徐州の陷落によつてその大半の意義を失ひ、僅かに蘇魯特別戰區總司令于學忠、副司令韓德勤、同沈鴻烈等は東海一帶の鹽稅收入によつて外國船より武器を購入して淡い抗日の夢を懷いてゐたが、四日午前我軍によつて海州を攻略せられ、東隴海線また悉くわが手中に歸したために山東を根城とする沈鴻烈は韓德勤の率ゐる八十九軍于學忠の五十一軍、五十七軍と全く游離し今や自然崩壞の運命を辿るほかなきに至つた

三寒四溫

骨董、書畫運動と頗る多趣味、刀劍に至つては少しは惡口も云へぬほどの大家である製粉聯の奧平理事長、昨年の暮から滿拓の坪上總裁、計器の黑岩社長等々、新京實業界の錚々たる御歴々を語らひ木の貝會と云ふいとも優さしい十七文字の發句の會に進出、その名も一塵と號し趣味の廣いところを見せて、一塵の由來を語つては會ふ人每に謙讓の誇りを感じてゐるが、うるさいのが傍から譽めたつもりで

奧平さんはもう一塵でもないでせう、まあ黃塵と云ふところですな

だと

武漢特別市政府 本月末正式誕生
新政權の基礎固る

【漢口四日發國通】武漢三鎭及び周邊地區民衆の熾烈なる反共和平救國輿論を舞臺として擡頭中の武漢特別市政府の諸般の準備は愈々進捗し、本月末には晴れの成立式を擧行する段取となつた、而して防共最前線たる武漢に新たに生れ出る特別市政府は國共合作勢力に對抗する防壘の役割を演ずるとゝもに抗日政權の虐政下に呻吟してゐる皇軍未占領地域民家に呼びかけてこれを救出し新中國建設の傘下に糾合すべき重大使命を有するところからその組織は從來の北中支各都市政府とは趣きを異にし最もその使命遂行に適應する民家自治制を採用するに大體決定を見た、特別市政府は三鎭の所謂市部行政機關たるに滿足せず、特に强力有能なる鄉部を設置して周邊外廓地帶の積極的綏靖工作に乘出し既に現在六百五十餘に達してゐる、湖北、湖南、江西三省の治安維持會を傘下に糾合統轄して來るべき武漢新政權樹立の基礎となすものであり特別市政府誕生の曉におけるこの鄉部の活躍は最も期待されるところである、從つて武漢新政權は臨時維新兩政權とはその成立過程を異にし武漢特別市政府發展强大化の必然的所產として現出するわけで既に新政權待望の輿論も充分に醞釀されてをりその出現は武漢特別市政府成立後遲くも三ヶ月を出でまいと觀測されてゐる

海州市に治維會
早くも結成の機運

【海州四日發國通】四日午前陷落した隴海線上の要衝海州は長い間韓德勤軍の暴政に苦しみ住民は悉くこれに怨嗟の聲を放つてゐたが、皇軍の入城に日章旗を揭げて心から歡迎をなした、彼等の間には早くも皇軍入城を機に治安維持會が議題に上り數日中にその正式結成を見る段取になると豫想されてゐる、支那民衆指導機關である〇〇機關では既に數日前より〇〇において海州陷落を待機してゐたが、四日海州に向つて出發した、占據と同時に海州更生に對し治維會援助の手は早くも延べられんとしてゐる

海州市の全貌

【北京四日發國通】四日拂曉皇軍の占領した海州は東方七粁の新浦とゝもに隴海線東端に位置し海陸交通の要衝に當り主要物資集散の中心市場を形成してゐる、海州は東海縣城の所在地で人口二萬周圍に城壁を繞らし城壁の高さ七米幅下部四米、上部二米總延長約七粁市區は整然各門に通ずる道路は總て石で舖裝され直幅は三、四米、市街北部に商家が櫛比してゐる、新浦は臨洪河を以て黃海に通り人口一萬城壁なく工業都市として又海州の關門として漸く發展の緒につかんとしたが民國廿四年連雲港とゝもに海運方面はやゝ繁榮を奪はれた形であつた、本地方は古來海州鹽の產地として有名であるが農產物にも惠まれ米、高粱、大豆、玉蜀黍等多く新浦には製粉工場がある、陸運は隴海線により西方徐州、鄭州、開封、西安等に通り東は新浦並に連雲港の二開港に連らなつてゐたが、暴逆なる支那軍は昭和十二年暮れ以來徐州、連雲港間の軌道を殆んど取除き路盤を切斷して使用に堪えない樣にして仕舞つた、水運の主なるものは新浦、東罡間、新浦、漣陽間で何れも五十石以下の民船を通ずる、隴門連雲港はオランダ治港會社が請負工費三百萬元で民國廿四年完成、一繫船能力は三千噸級三隻、一月の結氷期を除き主として棉花、石炭を輸出、日用品を輸入してゐたが、昭和十二年十二月十五日支那側は埠頭を爆破、連雲港、海州間の陸路を切斷して逃走、昭和十三年五月わが海軍陸戰隊の連雲港占領と共 修理をおひつゝあつた、蘇北作戰により海州の占領と共にこの地方の治安も着々恢復さるべく、殊に海州鹽の增產並中興炭、其の他北支南部諸炭の輸出にとつて一大曙光を與へるわけで皇軍の赫々たる武勳と共に今後の經濟治安の復興が注目されてゐる

ソ聯駐支大使
モスクワに歸還か

【香港四日發國通】孔祥熙系機關紙星報の報ずるところによれば、駐支ソ聯大使オレルスキーは本國政府の訓命に基き數日中にモスクワに歸還するに決したといはれる、オレルスキー大使の歸國は最近の蔣政權の情勢及び新國共合作成立後の國共關係につき詳細なる報告をなすとゝもに更に來る十日モスクワで開催されるソ聯共產黨大會において新ソ支提携政策を決定するためといはれる

貴族院豫算總會

【東京國通】四日の貴族院豫算總會は午前十時十五分開會正午一旦休憩の後、午後零時四十分再開、大河內輝耕子(研)森平兵衛(研)次田大三郎(同)菊池武夫男(公)諸氏の質疑あつて討論に入り、松井茂(和)八條隆正子(研)矢吹省三男(公)贊成意見を述べ採決の結果

一、十四年度一般會計總豫算案

一、各特別會計豫算案

を全會一致可決、四時四十七分散會した

ガンヂー翁 ハンスト!
國民會議とア王との確執で

【ボンベイ四日發國通】ラヂコート王國における印度國民會議とアコレサヘブ王との政治改善問題をめぐる確執は俄然緊迫化するに至り、廿七日ラヂコートに乘込んだガンヂー翁は要求貫徹のため三日正午ハンガー・ストライキに入つた、ガンヂー翁のハンガーストライキに入るとの報道は果然全印度を震撼しボンベイ市では四日から三日間ハルタル(政治的ボイコット運動)を行ふに決した、他方地方政府各州商業團體からはガンヂー翁の命を救ふためリンリスゴウ總督の善處を要望する電報が續々發せられつゝあり、ボンベイ市では四日民衆の合同祈願を行ふことゝなつた

【寫眞はガンヂー翁】

ボース國民會議々長聲明

【ボンベイ四日發國通】ハンガー・ストライキに入つたガンヂー翁を想ふ印度民衆の興奮は高潮に達し、現在カルカッタにあるボース國民會議々長は五日全印度ラヂコート・デーを催し一大示威運動を決行することに決し、四日つぎの如く聲明した

ガンヂー翁の命を救ふ途は一に問題の迅速圓滿なる解決を圖るにある、故に吾々は英國權力及び君主に最大限の道義的壓力を加へ彼等をしてその犯せる過ちを知らしめねばならない、吾々は到るところでハルタル(政治的ボイコット運動)を行ひデモ及び會合によつて英國官憲や君主の態度を責める決議を通過せしめやう

佛印防備强化の要力說
元佛印總督

【パリ三日發國通】フランス政府は極東情勢の進展に對處して佛領印度支那の防備强化に躍起となつてゐるが、元佛印總督エルネスト・ウーレイ氏は三日植民地聯盟の集會において佛印の防備强化の必要を力說して左の如く述べた

過般行はれた日本軍の海南島占領により佛印に對する脅威は急激的に增大した、これに對抗するためにはカムラン灣の防備を强化することが緊急に必要である、日支紛爭以來フランスの態度に關して日本側では盛んに非難を加へてゐるが、平時における四川省への武器輸送の自由を規定した一九三〇年の支那、佛印協定が現存し日本政府がなほ支那に對して宣戰を布告してゐない以上日本側の攻擊は何等の根據を有しない

外務辭令

【東京國通】

シドニー總領事 若松虎雄

カルカッタ在勤仰付らる カルカッタ總領事 吉田丹一郎

マニラ在勤仰付らる チリー國特全權公使 三宅哲一郎

チリー國駐劄被免

なほチリー公使には鹽崎觀三氏が任命され赴任した

東滿領事異動

三日附の東滿地方領事異動左の如し

賜暇歸朝 密山領事館 領事 田中作

賜暇歸朝 錦州領事館 領事 佐野銀次郎

任密山領事 佳木斯分館 田中茂三

賜暇歸朝 琿春分館 主任 片桐卓

佳木斯分館主任を命ず

なほ三月一日附をもつて牡丹江領事館に大使館分駐所が開設され、主任には前白城子分館主任の竹內末夫氏が任命された

ギロナウ中佐 駐日獨大使館へ

【ベルリン四日發國通】ドイツ政府は國際航空聯盟副會長ウオルフガン・フオン・ギロナウ中佐を駐日ドイツ大使館附航空武官に任命することゝなり四日發令した、ギロナウ中佐は一九三〇年獨米間大西洋横斷飛行に成功、一躍有名となり、次で一九三二年北米、東京、上海、香港、マニラ、バタビア、ラングーン、バグダツド、ローマ經由の西廻り世界一周飛行を敢行したドイツ航空界の至寶である

廿世紀の戰慄
破壞とテロ、全世界に及ぶ コミンテルンの慘禍

=(上)=

コミンテルンは公式的には一九一九年に結成されたが、事實上はソヴイエト政權樹立と同時に生れたと見るべきである、モスクワがコミンテルンの中心であり、ソ聯共產黨がその「前衞」である以上コミンテルンの慘禍は先づロシアから說き起すのが順序である、コミンテルンの慘禍を最も多く蒙つたのはロシアであつた、平和と土地とパンのスローガンを揭げて無智の民衆を欺き暴力と裏切によつて政權を奪取したボルシエヴイキは先づ舊ロシアの支配階級を壞滅した、即ち革命、內亂テロに斃れたもの僧正二十八人、僧侶四萬二千人、敎授六千七百七十五人、醫師八千百人兵卒二十六萬人、警官十九萬八千人、技師三十五萬五千人官吏十二萬八千人、將校五萬四千八百五十人に及んだ。またチエ・カー(ゲ・ペ・ウの前身)の創立者ウイリツキー(ユダヤ人)が暗殺されるやその報復としてペトログラードでは僅か一日の間に一萬の將校が銃殺乃至は沈殺(重石を括りつけて船から海中に突落す)され、全ロシアに亘つては一ケ月間に五十萬のロシア人が刑殺された、例の有名なベラ・クーン(ユダヤ人)はハンガリー革命に失敗してソ聯に逃亡中、南露クリミヤで國外に逃げ遲れた將校數千その他の萬餘の住民を甘言をもつて誘き寄せ一夜の中に機關銃で掃射した。

コミンテルンがロシアを占據するやついでそれは神との戰を開始した、所謂反宗敎運動がそれである、一九二二年モスクワだけで四十三の寺院、ペトログラードでは全部の敎會が破壞された、爾後二十餘年に亘り反宗敎運動の波は時に昂揚し時に低迷しつゝも執拗に續行されてをりその犧牲も莫大に上つてゐる、即ち二十年間に全國で九萬八千の僧侶が拷問殺戮され、十五萬七千の寺院が破壞され、或は閉鎖されて劇場、俱樂部倉庫等に變つてゐる、正敎以外の宗敎に對する迫害も亦同樣である、反宗敎運動の害毒は單にかゝる外的なもののみに止らぬ、一切の精神的價値を否定する共產主義は國民を精神的に空虛なものとし、變化せしめてゐる、國民の精神的退化こそ宗敎迫害の戰慄すべき結果に外ならぬ、コミンテルンはロシアに飢饉を齎した一九二〇年、一九三二—三三年、一九三六—三七年の飢饉では約二百三十萬の子供と約一千萬の主として農民が餓死した、又一九二九年に始まつた强制的コルホーズ化の結果、六百萬の農民及びコザツクが「富農退治」の名目の下に家族と共に飢と寒さの待ちうけてゐるシベリヤ强制勞役所に流刑され、現在ではその數は七、八百萬に增えてゐる。

コミンテルンは搾取のレコードを打樹てゝゐる、例の五ヶ年計畫は正に人骨の上に建設されつゝあるのだ、搾取の最大なるものは上述せる强制勞役所であらう、全國三十有餘ヶ所に散在してゐるこのゲ・ペ・ウの奴隸使役所では一日十二時間乃至十四時間に亘り寒風と氷の中にゲ・ペ・ウの管の下で只働きをさせられてゐる、彼等の生命は一文の値うちもないものと見られ、死亡率五〇パーセントに及ぶ、赤い工場においても一般勞働者は十五圓乃至二十圓の月給で半飢餓狀態の下に實質的には强制勞働に服しつゝある、一九三六年における勞働者一人當り生產額は一一、〇一七留勞賃は一、四四〇留であつた餘剩價値實に九、五七七留はコミンテルンが搾り取り世界革命費に充當してゐるのだ、コルホーズではそれ以上全生產高の六—七割を國家即ちコミンテルンが取上げてゐる。アジア乃至極東もコミンテルンの魔手を避け得なかつた「世界革命の道は支那を通ず」とのレーニンの言葉通り、支那ソヴイエト化には莫大なロシアの金が注込まれあらゆる破壞工作員が送られた、モスクワ、哈爾浜、浦鹽には特別の對東洋宣傳員養成學校が設けられた、一九二五年には共產分子による武漢革命勃發し市民戰は南方より漸次北方に擴大し激化して行つた、江蘇省のみで赤色テロの犧牲となつたものは十八萬六千人であつた、滿洲では東支鐵道がコミンテルンの宣傳テロ組織の牙城となつてゐたが爾後益々テロの波は猛威を振つた、滿洲國出現はこの滿洲事變—滿洲國の對極東攻勢に對する鐵壁を築き上げその蒙古、新疆ルートへの方向轉換を餘儀なくせしめた。

雷州半島防備に
蔣政權、航空隊を增遣

【香港四日發國通】海南島の失陷以來、蔣政權側は廣東省南部殊に雷州半島の防備增强に躍起となつてゐるが、四日確實なる筋への情報によれば支那軍は廣西省柳州、桂林方面から航空隊を雷州半島方面に移動せしめつゝある模樣である

赤軍の戰意低下に ソ聯當局驚愕
黨員增加に躍起

張鼓峰事件に端なくも暴露したソ聯赤軍の政治的イデオロギーの貧困による戰意の低下に驚愕した當局は、政治委員を赤軍內に增してその赤化工作に躍起となつてゐたが、當時右事件の指揮官シテルン大將の率ゐる第一獨立軍では早くも張鼓峰事件參戰者中より四百名の共產黨員を獲得した模樣で、來る十日より開會の第十八回黨大會に右新黨員を送り、對日戰備を强調するものとみられてゐる

エヂヨフ危く 肅淸を免かる

【ワルソー四日發國通】當地への情報によれば屢報の如く前ゲ・ペ・ウ長官たるエヂヨフの主管する水運人民委員部は管下の實績不良で非難の聲昂まり部內肅正は時日の問題とされてゐたが二月廿日附命令で左の如く遂に部內の大肅淸が行はれた

一、アストラハン船舶修理工場長アリーコフ(免職、裁判に附す)

二、モスクワ船舶工場長ソローキン(同右)

三、タガンログ船舶工場長兼アゾフ遠洋汽船會社長ストロジエーフスキー(同右)

四、モスクワ、ヴオルガ運河々川港長グロシエヴオイ(免職)

五、同港長代理シエレーホフ(同右)

なほ今回の肅正に於ては責任者であるエヂヨフは免れてはゐるが彼の聲望は今や地に落ちて居り彼の失脚も早や既に時日の問題と言はれてゐる

ソ聯官憲有力者 續々罷免檢擧

新勞働法違反ならびに黨紀紊亂に對するソ聯官憲の肅淸工作は峻烈を極めつゝあるが、最近當地着確報によれば左記有力者が罷免檢擧された

△ドネプロ・ペトロフスクコークス化學工場長アレキサンドロフ △スモレンスク・コークス化學工場警備隊長モシキン △オロネンスキ鑛山局長フルンフ △南ウラル・ニツケル綜合工場部長シユクマートフ △同右クラスニツク △キーロブ・ラードムニ製鹽工場長シエイデンコ △モルダハ自治共和國人民委員會議長スタール △ウクライナ黨執行委員會黨機關指導部長ナーモフ △レニングラード黨委員會モスクワ第一書記クヅネツオフ △同第二書記ウオロトフ △聯邦重工業黨委員書記ジユダレフ

御用心! 泥棒暦〃素晴しき休日〃

迂濶、寢てゐる間に 或は留守の間に

土日曜日の盜難十五件

〃ウイークエンド〃はサラリーマンにとつては休日であるが、泥棒にとつては一週間中の一番の働き時、四日、五日の兩日に中央通署に屆け出た盜難は〆て十五件、主なるものは次の通りであるが、暖かさに誘はれて出歩く機會を覗つて留守居に入る泥棒が多いので『外出時は特に用心するよう』當局では希望してゐる

◇警手長松元義盛氏は四日午前九時四十分ごろ、新京滿鐵醫院外科控所に着衣を脱いで受診中に上衣ポケットに入れて置いた懷中時計を竊取された

◇市内永樂町三丁目七三泰堂青山たつ方では四日午後五時ごろ自宅前路上に施錠して置いてあつた自轉車一台(五十圓)を何者かに竊取され中央通署へ

◇市内梅ヶ枝町一丁目一〇三業ビル三階十六西野三郎氏は四日午後一時二十分ごろから一時間あまりの不在中に南金錠を破壞して侵入した泥棒に多オーバー一着(五十圓)を持ち去られ中央通署に屆け出た

◇市内和泉町三丁目黑水寮内藤井正鋭氏(二八)は四日午後四時から同九時に至る間、友達の部屋で眠つてゐるうちに、合鍵を使用して室内に侵入した泥棒に外套洋服(八十三圓)を竊取され中央通署に屆け出た

◇市内敷島通滿鐵敷島寮内小谷恒三君(二三)は四日午後二時四十分ごろ、中央通署前中央郵政局の爲替窓口で電報爲替を組んでゐるうちにオーバーのポケットに入れてゐた現金三百二十七圓入りの蟇口と切手二圓八十錢を掏りとられてゐることに氣付き蒼くなつて中央通署に屆け出た

◇五日午前九時頃市内西三道街居住、馬政局屬官徐哲儒氏(四二)が起床して見ると入口の扉が開いてゐるので不審を抱き調査したところ顆付き狐裏の黑色オーバー1時價三百圓及び指輪四個時價九十四圓計三百九十四圓を竊取されてゐるを發見四道街署に屆出た、犯人は嚴探中である

◇市内日本橋通八四小泉修治氏(三二)方のボーイ、大連市西關新起街四一生れ張澤學(一七)は三日午前六時から四日午前七時までの家人不在中に現金十圓とオーバー一着(二十五圓)を拐帶横領逃走したので取押へ方を中央通署に願ひ出た

◇新京鐵道北滿鐵第三水源池

端午の節句に 聖上、陸軍將校の馬術天覽

【東京國通】輝く戰捷に皇軍の士氣彌增しに揚るとき畏くも天皇陛下には來る青葉の五月宮城内舊本丸の御馬場に於て陸軍將校の馬術を天覽あらせられる御豫定に承る、御日取は尚武に因む五月五日の端午の節句に御内定の御由であるが、時局下皇軍の榮譽と共に軍馬の譽れも高きとき御意義更に深く宮内省及び陸軍當局では大御心に恐懼感激しつゝ準備を進めてゐる

滿洲軍用犬協會の改組强化に關する臨時總會は五日午前九時より新京日滿軍人會館に於て開催された、出席者協會側高柳會長、各專務理事、理事、各支部長、一般

〃軍犬〃の改組强化

十ヶ年十萬頭計畫への發足

臨時總會で定款決定

會員等二百餘名(内委任狀百八十名)來賓町山關東軍獸醫部長、高浪軍犬育成所長、滿洲國高田治安部獸醫科長、遊佐馬政局長等多數列席

午前九時より役員會を開き强化委員會にて決定せる協會定款案につき愼重審議のうち午後一時より總會に移り幸田主事開會を宣し、高柳會長より改組强化に到るまでの經緯と十ヶ年十萬頭計畫の要綱を說明次で定款改正案を滿場に諮り全員異議なく拍手をもつて贊成可決確定、會長以下現役員は三月卅一日限り辭職新會長治安部大臣より新役員を任命四月一日より華々しくスタートすることゝなる旨を述ぶこの時若月專務理事より役員並に全會員を代表して創立以來今日まで七ヶ年滿洲軍犬に對し絕大なる功績をあげたる高柳會長に對し衷心お禮と感謝の辭を述べ會長より深甚なる謝辭があり二潟千里に總會を終り、引續き講演と映畫に移り高浪育成所長『滿洲軍用犬協會改組に就て』と題して滿洲軍用犬の過去、現在、將來に分つて極めて有益なる蘊蓄を披瀝して一同を感激させついで町山獸醫部長の口演を行ひ映畫軍犬の用法北支の空を衝く、漫畫、人喰島漂流記等を觀賞盛況裡に終了した【寫眞は臨時總會】

改組後の新組織

滿洲軍用犬協會は五日の臨時總會に於て改組强化に關する定款を決定四月一日を期し十ヶ年十萬頭を目標に華々しくスタートすることになつたが協會の組織は

會長の下に理事會、評議員會、參與を置き本部は支部總務部、事業部に分ち總務部は更に第一課第二課の二課に分れ、第一課は庶務、人事、經理の三科、第二課は企畫、宣傳の二科となし事業部は第一課第二課の二課と育成訓練所の三つに分れ、第一課は蕃殖、育成、訓練、第二課は調査、研究の二つに分れてゐる、支部は幹事會、評議員會より構成され事務所と育成訓練所の二に分れてゐる

なほ本部は三月末日までに新京に移轉し舊治安部廳舍内に事務所を置く豫定である

北滿國境地帶の 通信施設擴充

同時に全滿に人事異動斷行

滿洲國では内外の情勢に鑑み移民政策を中心に國境建設を積極的に行ふことゝなり、在京關係機關によつて樹立された中央案に基づき牡丹江、黑河、海倫、海拉爾等のそれぞれ現地會議を開催して萬全を期してゐるが、電々會社では政府の國境建設と即應して國境地帶における通信施設の擴充强化を圖ることゝなり目下現地視察中の中田電務部長の歸京を俟つて直ちに整備に着手することゝなつた、而して同社では海倫に省公署新設の政府方針に併行して、海倫或はその他の北滿國境地帶主要地に管理局を新設する模樣でこれが具體的計畫の實施に當つて本月末全滿に亘る人事異動をも斷行し北滿における人的充實を期すことゝなり成果が期待されてゐる

青年學校武道大會 非常時青年の意氣を示す青年教育第四區青年學校聯合武道大會は五日午前十時半から市内室町小學校講堂において七青年學校選手によつて熱戰を展開、柔道及び銃劍術は四平街青年學校、劍道は吉林青年學校がそれぞれ優勝した【寫眞は熱戰中の銃劍試合】

新京軍、再度優勝

第四回全滿都市對抗卓球戰

第四回全滿都市對抗卓球大會は本年度より硬式に變更して五日午前十時より新京八島小學校にて開催地たる新京を始め大連、錦州、哈爾濱、撫順、奉天と全4の代表選手をもつて盛大に擧行された、定刻嚴肅なる入場式を行ひ前年度優勝新京軍優勝旗の返還をなし直ちに大連對新京軍の熱戰に披戰の火蓋を切り白熱戰の結果壓倒的成績で再度新京市が優勝した【寫眞は大連對撫順戰】

▽第一回戰

新京 4—0 大連
(富田 2—0 姜田中 / 古屋 2—1 闕田口 / 岩原 2—0 片和田 …)
[illegible]

▽第二回戰

新京 4—0 錦州
[illegible]

奉天 2—4 哈爾濱

▽優勝戰

新京 4—0 哈爾濱
[illegible]

坐礁の英船チ號 遂に絕望

三日沸曉旅順港外芝子口灣扇子石に坐礁した英船チエムロック號は船首を岩礁に乘上げ船體の三分ノ一を沈下、左舷甲板を波浪に洗はれてゐるが附近海上は相當波浪高く滿潮時の沈沒は免れぬ模樣で遭難以來船中に踏留つてゐた船長以下高級船員七名は四日遂に船を放棄しボートで艾子口屯に上陸、山頭村に至り午後三時旅順署高等係員と共に自動車二臺に分乘、大連水上署に入つたが、一應の取調べを受けたのち船長スリール氏ほか一名はヤマトホテルに入り、他の船員は三日夕第卅六共同丸に救助された卅五名と共に南方旅舍に投宿した、水上署では坐礁地點が要塞地帶なるため、五日正午より改めて取調べを行ふことになつてゐるなほ右船體の處置については船主たる上海クイルコック會社及び代理店神戶大同海運、大連國際運輸などの關係者が協議の結果、結局門司からサルベージ船を依頼應急手當を行つた上、大連に曳航修理を行ふものゝ如くである【寫眞は坐礁したチエムロック號】

滿赤の看護婦 採用試驗

創立二年度を迎へて内容整備を期してゐる滿洲赤十字社では同社救護婦として醫療國策に適進する女性を求めたところ應募者全滿で日本人百十五名、滿人百五名に達し五日午前十時より新京滿赤本社でその採用試驗を行つた、試驗科目は體格、學科の外常識試驗として口答試問があり、時節柄問題は

△日滿兩國の關係はどんなですか

△防共協定を結んだ國の名前は

などゝ言ふ傾向が多く、これに對する應答も奇答少く、銃後女性の賴もしさをおもはせる明答振りが多く試驗官を滿足させ午後四時一通り終了した

協和會中央本部委員會

委員顏觸れ一新か

協和會最高意志決定機關である中央本部委員會の改組問題は以前より種々問題とされ、民衆代表を直接參加せしめることによつて委員會組織の合理化等眞劍に論議せられて來たが、二月中旬本年度協和會最高工作方針決定の最後的委員會開催の際、根本的の改組に就ては暫く考究するとしても、この際委員の顏振れを一新し、躍進協和會の情勢に適應せる各方面の人物識者をもつて最高頭腦とし、新秩序建設、興亞の大業を遂行せしむべしとの意見が委員會内に於て有力化して來たが、近く委員會に於て更に愼重協議の上委員會人事の全面的一新が行はれる模樣で各方面に注視せられてゐる

初日から好評!

山本、橘兩師の運命鑑定會開く

革新的豫言者東京豫言協會の權威東京上野大觀堂主山本哲仙師及び東京相學館長橘哲州師の運命鑑定會はいよいよ五日から記念公會堂で開かれたが、觀相界の最高峰だけに開會前より押しかけた男女の群れが兩先生を面喰はせてゐた、世の多くの惱める人々に眞の精神的安定を與へ失意悲嘆にあへぐ人々に更生の道を教へる兩師の懇篤なる鑑定は初日から好評を博してゐる

滿洲防疫陣の犧牲 故河島氏夫妻廳葬

衞生技術廳開設以來同廳副研究官としてペスト關係業務に從事中、去る十九日作業感染の下に殉職した衞生技術廳副研究官勳七位河島常行氏及び同氏看護中感染逝去した仁子夫人の告別式は、衞生技術廳葬で五日午後二時より興安大路衞生技術廳圖書室で神式により嚴肅に執行された

故人生前の功績を語る如く技術廳、大陸科學院、星野總務長官、蔡外務局長官はじめ朝野各方面より贈られた花輪が處狹きまでに飾られた式場には遺族河島常德(常行氏實弟)、上妻宗隆(仁子夫人實兄)兩氏はじめ蒔經濟部、孫民生部兩大臣、星野總務長官、植田警務司長、蔡外務局長官、于新京市長、關屋副市長以下日滿衞生防疫關係者、國防婦人會代表等參列し、定刻記念撮影の後新京神社神官の修祓獻饌の儀あり、植村祭主の誄詞及び告別の辭の奏上についで大陸科學院長代理加藤研究官弔辭を朗讀、終つて遺族、阿部葬儀委員長、參列者の順に玉串を奉奠し午後二時四十分閉式した、なほ御遺骨内地歸還の日取りは未定で、當分衞生技術廳圖書室内に安置する筈である【寫眞は廳葬式】

二月隊、共匪六十を擊滅

〇〇部隊二月隊は去る一日午前十時卅分頃、〇〇附近において約六十の共匪を發見、直ちにこれに攻擊を加へ交戰一時間半にしてこれを四散せしめた、戰果次の通り

匪の損害—遺棄死體三、鹵獲品—小銃二、同彈藥六十三、我方損害なし

〃首都本部〃 國婦支部改稱

滿洲國防婦人會新京支部は今般會組織の强化に伴ひ團體名を「滿洲國防婦人會首都本部」と改稱した、事務所は從前通り中央通り國防會館内電話二一二八八二番、二一一四七四

滿鐵主催柔道段外對抗試合

滿鐵運動會新京支部主催第二回新京附近柔道段外者對抗選手權大會は五日午前九時より新京商業道場で十二チーム參加の下に開始、京商陣奮ひ、優勝戰は同校の同志打ちとなり左の成績で京商忠組優勝、優勝旗と優勝カップを授與して午後二時閉會した

1京商忠組、2京商烈組、3京中A組、4京中B組

維新學院學生入京

【東京國通】上海の維新學院學生一行九十六名は四日午後七時四十五分東京驛着入京、宮城遙拜の後、宿舍の小石川區原町の金鷄會館に入つた

過般のペスト禍は市民に大きな衝動を與へたが、一面防疫陣にとつて貴重な體驗でもあつた▼勿論國都防疫陣は渾然一體その活動は涙ぐましいものあり完璧陣としての眞價を十二分發揮した、だがその頃張り切つてゐただけに陣營は殺氣だつてもゐた▼中銀社宅の鼠さわぎの時、白菊町派出所の首警本部から祝町衞生試驗所の防疫本部に電話『早速殺鼠劑を送つてくれませんか』『直ちに送付しますが配布は警察の方で願ひますこちらは人手がありませんから』『人手がない…ともあれ至急送つて下さい』話は終つたが後で『市にはそんなに人がないかなア、君子危きに近寄らずの手では…』と一同不滿さうな面持であつた

けふの天氣 北の風一時稍强く雲多し小雪模樣
きのふの氣溫 最高五度九 最低零下六度七

若殿膝栗毛

（禁上演）（上映）

中川雨之助
竹越一郎　畫

（二百八十一）

風雨

これでは、手がつけられなかつた。軍平もいさゝか持て餘した。

「そんな負け惜みをいつて、おぬし、ほんたうに助かりたくはないか、助かりたくなければ、此處にヂッとして居るが宜い、逃げた役人等が、土地の者でも連れて戻つて來るだらうから、もう一度軍鷄籠に乘せられて、ゆる〳〵道中をするがよからう、俺は、かうしておぬしを救つた事に依つて、俺の心の望みは達しられた。厭なものなら、强ひて連れて行くにも當るまい。ぢやあ俺は行くぞ、マア〳〵一日でも永く裟婆の風に當るがよい」

軍平はあきらめて、そのまゝ

「おやあ、助けておくれ、その代り、恩には着ないよ、おまいさんの首は、どこ迄も狙はずには置かないあたしなんだよ。サア、それが承知なら助けておくれ。それとも、あたしを救つて、それを言立てゝ、あたしと妥協しようといふ量見なら、折角ながらお斷りするから打棄つておくれ！」

軍平も、さすがに呆れた。

「どこまで强情な女だらう」

しかし、そのまゝ見捨てゝ行く氣にはなれなかつた。

それから、やゝあつて後、軍平は、品乃を負つて、もとの山道を走り下つて居た。役人の着てゐた雨合羽を奪つて、それを品乃の頭からスッポリ被せてゐた。

雨は、山風を誘つて、横降りに激しく降つて來た。

いづれにしても、キッと追駈けられるに決つてゐた。だから、少しも油斷は出來なかつた。

その中に、だん〳〵あたりは小暗くなつて來た。雨と闇とは追手を脱れるには都合が好かつた。が、いつ迄も大の女を背負つて走りつゞけられるものでは無かつた。その始末をするには都合の惡い、闇ではあり、雨であつた。

その上、一本道を、もとの土山の方へ逆戻りをして居たのでは、追手の來るのを待つやうなもので智慧のないことだと思つたので、軍平は、やがて、麗が坂まで來ると、一と筋の枝路を發見して、その方へ、まぎれてしまつた。

何處へ通じてゐる路なのか、それも分らなかつた、また何處へ行かうといふ的もなかつた。

暫らくすると、まるつきり夜になつてしつた、路は、粘々の、チョット油斷をするとすぐ轉びさうな、狹い惡道であつた。路ばたの灌木の枝や樹の根に、しば〳〵足を掬はれさうで、危なくて仕樣がなかつた。

ゝ元來た方へ引ッ返して行きさうであつた。

品乃は、默つて軍平の言ふところを聽いてゐた。聽いてゐる中に彼女の反抗心は、だん〳〵冷たくなつて行つた。仰向いて、軍平を睨んでゐた顏は、次第に、うなだれて行つた。

「待つて……」

思はず軍平の背後へ呼びかけた品乃の聲であつた。

「なんだ。何か用か…？」

軍平は振り返つた、その眼もとに、意地の惡さうな笑ひを刻みながら

「どういふつもりで、あたつを助けたのか、それが分らない、同志を裏切り、放火までしたおまいさんには、似合はぬことでないか」

「おれも人間だからな。チョットは、後悔もするだらうさ。死んだ親父のことを考へると死ぬが死ぬまで、俺の身を案じてくれた、あの親心といふ奴か、チク〳〵俺の心を針のやうた鋭さで刺して居る。言葉を換へると、マア同志への詫の印といふ處だらうよ」

品乃は忽ち叫んだ。

けふの番組

［M・T・C・Y 新京放送局］ 六日（月曜日）

朝

七、〇〇（大連）ラヂオ體操・入港船のお知らせ
七、二〇 ニュース
七、二五（大連）初等滿洲語講座
七、五〇（大連）朝の音樂（レコード）秩父冏太郎
一、ヴァイオリン獨奏 シシリアーノ バッハ作曲
二、室内樂 アトルフ・ブッシュ ブランデンブルグ協奏曲第一番ヘ長調 バッハ作曲 ブッシュ室内樂團
八、二〇 氣象通報
八、五〇 建國體操
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東市）經濟市況
一〇、〇〇（大連）家庭講座 地久節の話 大連高等女學校長 津田元德
一〇、二五（大連）料理獻立
一〇、三五（大連）家庭メモ
一〇、四〇（大連）經濟市況
一一、三五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

晝

〇、〇一 晝の演藝 箏曲
一、金剛石 箏 鹽田幾子 同 大道愛子 三絃 三谷操韶 尺八 鹽田芦風
二、鶴の巢籠 箏 鹽田幾子
〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（大連）經濟市況
三、〇〇（大連）經濟市況
三、二〇（東京）經濟市況
四、〇〇（東京）ニュース 氣象通報、ニュース
四、四〇（大連）經濟市況
五、二〇 ニュース「鮮語」
南道俗謠「鮮語」 一、遊山歌 二、六字伯

夜

六、〇〇（名古屋）子供の時間 童話劇 金錦外紅外 原作並演出 福島佐松
若武者と母 金の城こども會
六、二〇（東京）コドモの新聞 村岡花子
六、二五 趣味講演 童話 桃太郎の新撰 文學博士 稻葉君山
七、〇〇（東京）ニュース・告知事項・今晩の番組
七、三〇 合唱
一、咲いた咲いたよ
二、家畜愛護歌
新京音樂協會合唱部員 ピアノ伴奏 網代榮三 指揮 細田透
七、四〇（東京）講演
八、〇〇（東京）女聲合唱 ホワイト合唱團 ピアノ伴奏 一宮三千子 管絃樂 東京放送管絃樂團 指揮 淺香麟三郎
一、皇后陛下御誕辰奉賀歌 女子學習院撰
二、皇太后陛下御歌 花すみれの御歌 山田耕作作曲
三、地久節祝ぎ歌 與謝野晶子作詞 成田爲三作曲
四、日章旗讃歌 明本京靜作詞 近衛秀麿作曲
五、才女
八、二五（大阪）新管絃樂 小學唱歌 長谷川良夫編曲 六、山うぐひす メンデルスゾーン作曲 水田詩仙作詞 黒澤隆朝 小川一朗編曲
八、五〇 長唄 安宅の松 喜志邦三作詞 内田元作曲 大阪新管絃樂團 指揮 内田元 唄 杵屋勝徽瑳 三味線 杵屋勝功 上調子 杵屋佐榮三
九、〇五 從軍物語 二人の部隊長 西村樂天
九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解說、氣象通報、ニュース、告知事項、明日の番組
一〇、三〇 ニュース再放送
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間
アナウンサー 荒井（朝）渡邊、池谷（晝）上森、田中（夜）

長唄、安宅の松と（後八・五〇）西村樂天氏の物語

長唄 安宅の松
唄 杵屋勝徽瑳　三味線 杵屋勝功　上調子 杵屋佐榮三
（寫眞は上より勝徽瑳、勝功、佐榮三の諸師）

旅の衣は篠懸の、旅の衣は篠懸の、露けき袖やしをるらん、都の外の旅の空、日も遙かなれ、東雲早く明けゆけば、淺茅色づく有乳山、氣比の海、宮居久しき神垣や、松の木の芽山、なほ行く先に見えたるは、杣山人の板取、川瀨の水の淺洲津や、末は三國の湊なる、蘆の篠波打寄せて、靡く嵐の烈しきは、花の安宅に着きにけり、落葉掻くなる里の童の、野邊の遊びも餘念なく、こりやたがあづきちつちやこもちや桂の葉ちんちがくちんからこ、走り〳〵走りついて、先へ行くのは酒やのおてこ、後へ退るはおかみきつね、あまが紅つけて、父や母に言はうよ、言うたら大事が、そつてくりよ、薬趣しの〳〵月の影、裏のなア、裏の脊戸やの今年竹、笛にせうもの草笛に、笛になりたや忍ぶ夜の、笛は思ひを口うつし、ア、ア、しよんがいな〳〵、忍ぶ其身は安宅の松よ、雪の夜每の汐風に、もまれ〳〵で立ちつくし、あれして、これして、しよんがいな（以下略）

從軍物語 二人の部隊長

西村樂天

高橋準三隊長は下士志願より大尉に昇進した立志傳中の人です、退役後畑大將推薦で閑下の母校東京府立一中の軍敎將校として學生訓練に一身を捧げて居ました。今事變直後五十六歲の老骨最後の御奉公であると現役志願をいたしました處許されて十二年八月出征しました。驛出發の時には德富蘇峰先生執筆の宏光の旗と（南無法妙蓮華經）の旗さし物を背に、飯塚部隊〇〇機關銃隊長として勇ましく戰の首途につきました。上海戰、大場鎭攻略、徐州戰には上海より揚子江北岸に渡り南進、如皐、東臺城と進みました、ところがこの多くの戰には如何なる譯か、飯塚部隊長は高橋隊を唯の一度も戰鬪線につけず後方

警備の任にのみつかします。老大尉は猛虎隊長として張り切つても戰はねばなんとせん「なんの理由で部隊長は俺を戰鬪線につけんのだ。俺が老大尉であるからだらうか？銃後で我れの敎へ子達は每日の新聞を見て、先生は一體なにをして居るのかといぶかしく思つて居る事であらう」と思ひ余る時遂に堪えられず、四月廿日東台警備中部隊長宛書狀を送りました

飯塚部隊長殿
部隊には〇〇機關銃隊も有之事御忘れなく願上候　合掌
〇〇機關銃隊長　高橋準三
大尉

この珍妙なる手紙を受取つて飯塚部隊長は
「ハハ――――高橋君らしいよ」
と笑つてサラ〳〵と返事一筆
思ひ出だすの日を樂しく待たれたし
高橋大尉殿　部隊長
（以下略）

晝の演藝 箏曲

【後〇、〇一】
一、金剛石　昭憲皇太后御歌　楯山檢校作曲

二、鶴の巢籠
箏 鹽田幾子　大道愛子　三絃 三谷操韶　尺八 鹽田芦風　箏獨奏 鹽田幾子

金剛石（歌詞）金剛石も磨かずば珠の光はそはざらん、人も學びて後にこそまことの德はあらはるれ、時計の針の絶え間無くめぐるが如く、時の間も日かげをしみて勵みなば如何なる業かならざらん

鶴の巢籠（歌詞）けに治の御代なればきりようはそのまに遊ぶ。仙榮の雲の林に住む麗人は鼓を鳴らし、龜は浮木にたはむれて其の枝々に鶴が巢を組む。謙鶴をまうけし眞鶴の松の梢に千代かけて鶴の巢ごもり末を松。君が代は千代に八千代にさゞれ石のいはほとなりてこけのむすまでげにをさまれる國とかや

歌謠合唱

【後七・三〇】

咲いた咲いたよ
新京音樂協會合唱部員　ピアノ伴奏 網代榮三　指揮 細田透

咲いた咲いたよ
西川吉次郎作詞　網代榮三作曲

一、咲いた咲いたよ地軸の上に
蘭と菊との花ざかり
滿洲々々はよいところ
こゝに樂土の華がさく
二、五族これこそ五つの指よ
握りや一つの力こぶ
滿洲々々はよいところ
こゝに五色の旗が立つ
三、みどり燃えたつ高粱畑で
仰ぐ亞細亞の朝ほらけ
滿洲々々はよいところ
こゝに光の地がおどる
四、曠野稔れば實の波に
千野ひろがる惠美須顏
滿洲々々はよいところ
こゝに黄金のうずが湧く
五、亞細亞かためて世界を招く
繪舞台の晴れ姿
滿洲々々はよいところ
こゝに力の腕が鳴る
六、結ぶ日、滿蒙代かけて
交はす契の心づな
滿洲々々はよいところ
こゝに平和の月が照る

家畜愛護の歌
梅田マサ子作詞　永尾巖作曲

一、平和の邦の建設に力の限り働けど
戰となれば勇ましく
國の御爲に盡くす馬
（折返し）やさしい愛の手をのべて護れいたはれ我が家畜
二、諸氏睦む農場に尊い汗を光らせて
たゞ默々と忠實に今日も働く野良の牛
三、麗らに射せる日を浴びて
盡きせぬ毛並美はしく
綠にかほる牧場に遊ぶ平和の群羊

月曜　壬寅　佛滅　閉　心宿
舊正月十六日　三月六日
東京・本鄕・神誠館

●一白の人　人言に迷ひ易し空想より事を破ることあり坤と甲と艮が吉
●二黒の人　天來の賜を受くる吉日企業入學名弘の皆吉丁と巳と巽が吉
●三碧の人　工夫すれば爲る程失費に迫はるゝ日守が吉壬と丁と巳が吉
●四綠の人　終りの全からざる日無謀急速は第一の愼み乾と壬と艮が吉
●五黄の人　自然に幸福の增進し來る日始業普請旅行吉甲と艮と巳が吉
●六白の人　本業を愼直ぐに守るべし意志を散さば敗る西と巽と東が吉
●七赤の人　思はしからざる日外に出でゝ殊に怒りとす巽と坤と壬が吉
●八白の人　居心惡くとも目上には引き立てらるゝ吉日東と西と坤が吉
●九紫の人　六ヶ敷き日なれど着實なれば却て吉と成る艮と甲と西が吉